

電子処方箋モデル事業の取組報告



地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構

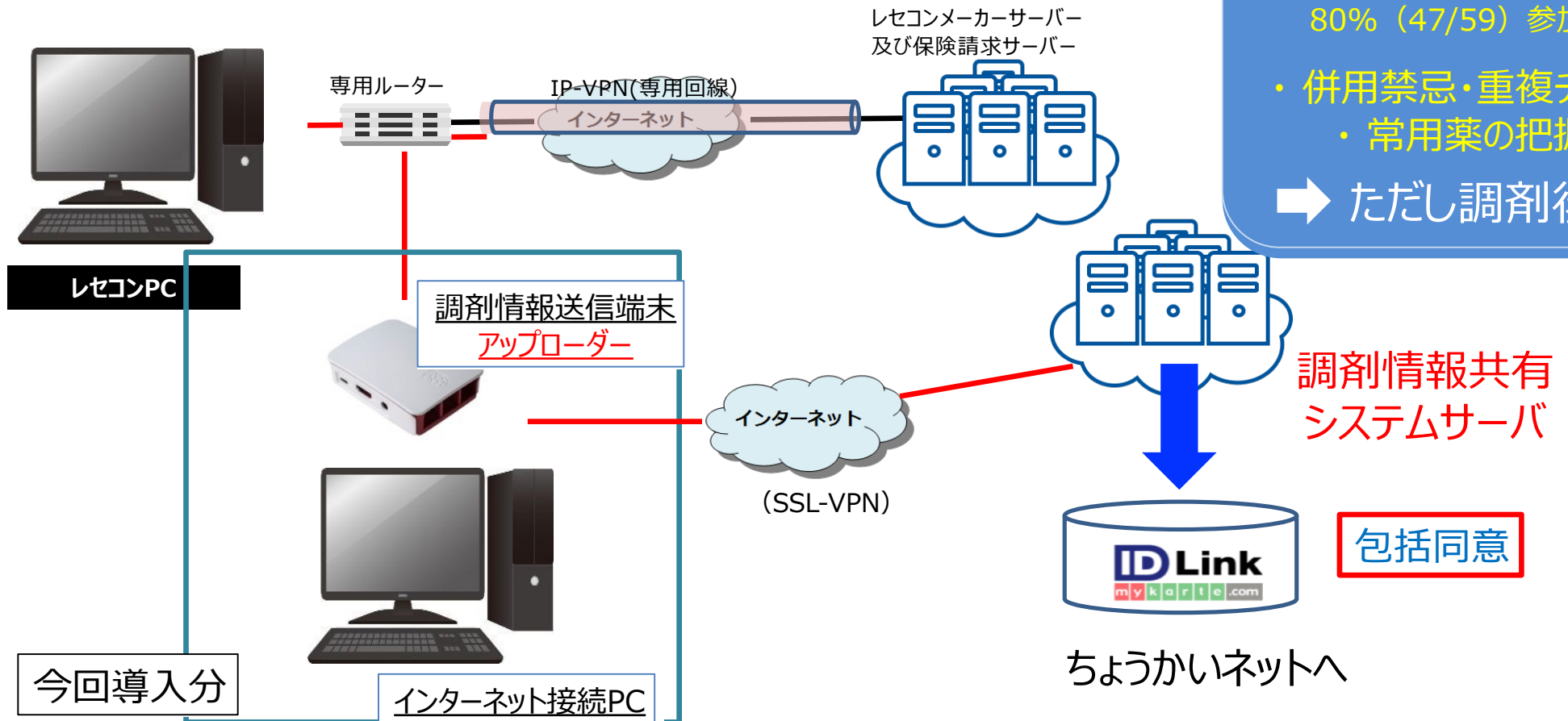
日本海総合病院院長 島貫隆夫

電子処方箋導入と期待 その背景

北庄内エリアにおける調剤情報共有システム

薬局様店舗内に以下の用意が必要です。

- インターネット接続PC : 「ちょうかいネット (ID-Link) 」・「調剤情報クラウド」にインターネットで接続
- 調剤情報送信端末 : レセコンPCから出力されたNSIPSデータを調剤情報クラウドに送信する端末
- レセコンPCと接続 : 調剤情報送信端末とレセコンPCをLANで接続
- レセコンPCの設定 : NSIPSデータの出力を設定 (共有フォルダに出力)



調剤情報共有システム 年間データ分析結果

処方オーダー・調剤時のアラート

電子処方箋に対する期待！

2019年	2021年
同意取得患者数 8,107人	同意取得患者数 13,115人

	年間	65歳以上割合	年間	65歳以上割合
延患延べ者数	88,860 人		106,967 人	
65歳以上	60,097 人	67.60%	76,570 人	71.60%
重複（同一成分）発生	47,443 件		42,964 件	9.1%
※対調剤行数	40,200 件	84.70%	37,155 件	86.50%
65歳以上				
重複（成分・系統等全て）発生	58,750 件		91,605 件	
※対調剤行数	49,174 件	83.70%	75,344 件	82.20%
65歳以上				
相互作用（併用禁忌）発生	1,461 件		1,225 件	0.3%
※対調剤行数	1,324 件	90.60%	930 件	75.90%
65歳以上				
相互作用（禁忌・注意等全て）発生	12,768,489 件		3,096,904 件	
※対調剤行数	9,931,385 件	80.80%	2,149,143 件	69.40%
65歳以上				
6 薬剤以上発生件数	35,565 枚		45,346 枚	41.6%
（処方箋枚数）	28,174 枚	79.20%	36,113 枚	79.60%
65歳以上				
8 薬剤以上発生件数	21,853 枚		27,803 枚	
（処方箋枚数）	17,534 枚	80.20%	22,251 枚	80.00%
65歳以上				
10 薬剤以上発生件数	12,311 枚		15,604 枚	14.3%
（処方箋枚数）	9,905 枚	80.50%	12,416 枚	79.60%
65歳以上				
ベンゾジアゼピン系（1124）製剤発生	7,250 枚		8,025 枚	7.4%
（処方箋枚数）	5,056 枚	71.60%	5,793 枚	72.20%
65歳以上				

電子処方箋のモデル事業について —先行導入地域として4地域を選定—

目的

令和5年1月の電子処方箋管理サービスの運用開始に向けて、医療機関・薬局等における運用プロセスやトラブル・問い合わせ対応を確立するとともに、電子処方箋の活用方法の展開を行う。

期間

令和4年10月末～（1年間）

概要

地域を限定したうえで、電子処方箋

2022年10月31日からSTEP 1
処方情報を電子処方箋管理サービスにアップ
正確に情報が伝達されることを確認

ることにより、電子処方箋の更なる活用方策についてとりまとめる予定。

※ 施設については、今後、次頁の一覧以外にも追加する可能性があります。

<モデル地域>

①山形県酒田地域

日本海総合病院
アイン薬局
共創未来あきほ薬局、他

12/21～
STEP 2

④広島県安佐地域

安佐市民病院、他

12/9～
STEP 2

②福島県須賀川地域

公立岩瀬病院
さくら薬局、他

12/9～
STEP 2

③千葉県旭地域

国保旭中央病院
調剤薬局 マツモトキヨシ
とまと薬局
日本調剤
毎日薬局
ヤックスドラッグ、他

1/5～
STEP 2

**電子処方箋の
利便性・実用性・運用性**

電子処方箋導入までの経過

- 2022/08/19 モデル事業地域に選定・厚生労働省にてプレスリリース
- 09/06 酒田地域電子処方箋モデル事業キックオフミーティング
- 10/02 電子処方箋モデル事業フォーラム（会場：日本海総合病院）を開催
- 10/31 日本海総合病院・2 薬局にて**STEP1** 運用開始
・ 電子処方箋管理サービスとの間で動作確認を行う
- 12/21 日本海総合病院・2 薬局にて**STEP2** 運用開始。内科・外科での運用
・ HPKIを用いて電子処方箋を発行する実運用段階
- 2023/01/04 紙の同意書が不要になった
- 01/18 全診療科での運用

システム改修
マスターの整備

医師、患者への周知

2022年12月10日	10月31日	12月21日
電子処方箋モデル事業開始	Step 1 開始	Step 2 移行

電子処方箋導入前における電子カルテのマスター整備に

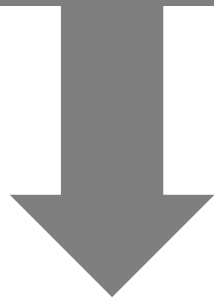
【整備したマスター】

- 処方薬剤マスター
 - 薬剤マスタは病院独自コード運用していた。
 - レセプト電算用コード、YJコードなどの標準コードなどの標準コードで送信する必要があるため、紐付けを行い、レコードを追加。
 - コードと医薬品名称が完全に一致（一言一句）する必要がある。ちょっとしたズレもはじかれる。
- 用法マスター
 - 用法マスターは病院独自コード運用していた。
 - JAMI標準コードを元にした電子処方箋専用コードで送信する必要があるため、紐付けを行い、レコードを追加。
- 用法コメントマスター
 - 電子処方箋の用法補足レコードに記録するための区分レコードを追加。
(頓用の条件指定・投与タイミング・投与時刻・投与間隔・部位)

結構この部分に手間取るため、早めの準備が必要

電子処方箋の前提条件

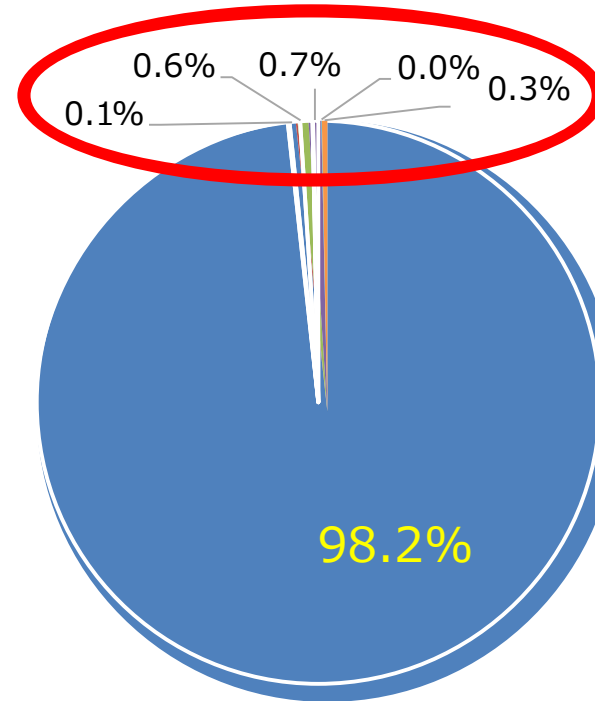
処方箋情報に患者の
被保険証の枝番が必要



オン資確認の一括照会機能

保険証番号の枝番が登録される

オンライン資格確認 一括照会機能 (予約患者)



➡ 保険証確認は 1.8% だけ
(朝 5 時に自動一括照会)

- 有効
- 無効
- 無効 (新資格あり)
- 該当資格なし
- 複数該当
- エラー

2021年6月～2023年1月

有効 474,506件 (月平均 23,725件)

無効 490、無効(新資格) 3,113、該当資格なし 3,536、
複数該当 130、エラー 1,487

STEP 1

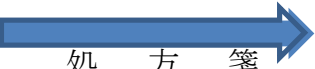
2022年10月31日

紙の処方箋

処方箋 (この処方箋は、どの保険薬局でも有効です)	
公費負担者番号	保険者番号 <input type="checkbox"/> 自 <input type="checkbox"/> 費 <input type="checkbox"/>
公費負担医療の受給者番号	被保険者証・被保険者手帳の記号・番号
患者 氏名 シエスアイ カンゾウ 患者 殿 生年月日 平成 9年 1月 1日 女 区分	保険医療機関の所在地および名称 MIRAIs病院 電話番号 保険医氏名 内科 内科 一郎 印
交付年月日 令和 4年 9月 15日	都道府県番号 01 点数表番号 1 医療機関コード 99999999 処方箋の使用期間 年 月 日
特に記載のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること	
変更不可 個々の処方薬について、後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更差し支えがあると判断した場合には、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。	
処方 01) ノイキノン錠 10mg 1錠 メイラックス錠 1mg 1錠 【用法】 1日1回 朝食後 ---- 以下余白 ----	3日分
備考 「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載した場合は、署名又は記名・押印すること。	自費
備考 保険薬局が調剤時に残薬を確認した場合の対応(特に指示がある場合には「レ」又は「×」を記載すること。) <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ疑義照会した上で調剤 <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ情報提供	
調剤実施回数(調剤回数に応じて、□に「レ」又は「×」を記載するとともに、調剤日及び次回調剤予定日を記載すること。) <input type="checkbox"/> 1回目調剤日(年 月 日) <input type="checkbox"/> 2回目調剤日(年 月 日) <input type="checkbox"/> 3回目調剤日(年 月 日) 次回調剤予定日(年 月 日) 次回調剤予定日(年 月 日)	
調剤済年月日	公費負担者番号
保険薬局の所在地及び名称 保険薬剤師氏名	公費負担医療の受給者番号

紙の処方箋：電子処方箋対応

電子処方箋対応
引換番号9999



調剤薬局で
電子処方箋管理
サービスに登録

電カルの処方オーダーが電子処方箋管理サービスに登録される



処方箋 (この処方箋は、どの保険薬局でも有効です)	
公費負担者番号	保険者番号 <input type="checkbox"/> 自 <input type="checkbox"/> 費 <input type="checkbox"/>
公費負担医療の受給者番号	被保険者証・被保険者手帳の記号・番号
患者 氏名 シエスアイ カンゾウ 患者 殿 生年月日 平成 9年 1月 1日 女 区分	保険医療機関の所在地および名称 MIRAIs病院 電話番号 保険医氏名 内科 内科 一郎 印
交付年月日 令和 4年 9月 15日	都道府県番号 01 点数表番号 1 医療機関コード 99999999 処方箋の使用期間 年 月 日
特に記載のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること	
変更不可 個々の処方薬について、後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更差し支えがあると判断した場合には、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。	
処方 01) ノイキノン錠 10mg 1錠 メイラックス錠 1mg 1錠 【用法】 1日1回 朝食後 ---- 以下余白 ----	3日分
備考 「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載した場合は、署名又は記名・押印すること。	自費
備考 保険薬局が調剤時に残薬を確認した場合の対応(特に指示がある場合には「レ」又は「×」を記載すること。) <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ疑義照会した上で調剤 <input type="checkbox"/> 保険医療機関へ情報提供	
調剤実施回数(調剤回数に応じて、□に「レ」又は「×」を記載するとともに、調剤日及び次回調剤予定日を記載すること。) <input type="checkbox"/> 1回目調剤日(年 月 日) <input type="checkbox"/> 2回目調剤日(年 月 日) <input type="checkbox"/> 3回目調剤日(年 月 日) 次回調剤予定日(年 月 日) 次回調剤予定日(年 月 日)	
調剤済年月日	公費負担者番号
保険薬局の所在地及び名称 保険薬剤師氏名	公費負担医療の受給者番号

電子処方箋管理サービスとの間で
正確に伝達されているのか動作確認

11/29 STEP 1 が順調に経過し、STEP 2 移行のためのテストを実施

STEP2 移行に向けたテストシナリオ実施、**不具合**を確認 ⇒ STEP2開始を延期
〔電子処方箋の修正〕

- ・ 電子処方箋を**修正した際**、修正前のデータが電子処方箋管理サービス上から**削除されない**
- ・ 電子処方箋管理サービスの仕様上、**処方箋データの Create か Delete しかできない。**
- ・ 電子処方箋管理サービスから取得するIDをオーダーに反映させないと修正できないようにする。

12/14 電子カルテの改修

電子処方箋管理サービスとの連携エラーを改修し、改善した。
カードリーダーの不具合に対処

12/21 **STEP 2 へ移行**

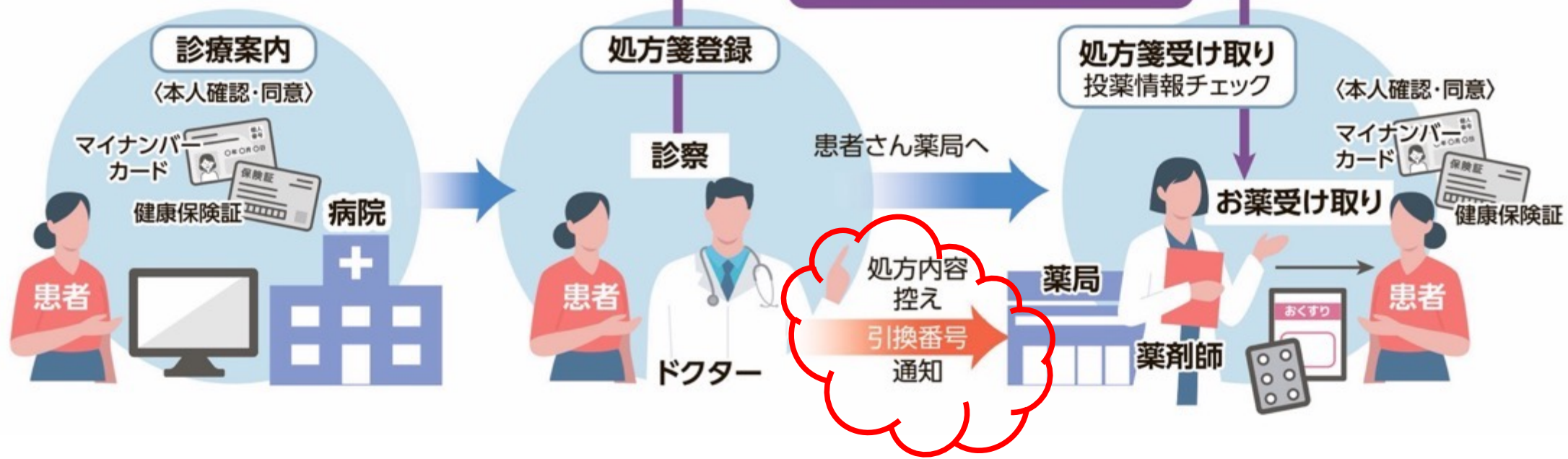
STEP 2

2022年12月21日

電子処方箋の運用

裏で

診療受け付け～診察～お薬受け取り
までの流れ



(山形新聞社提供)

電子処方箋対応可能施設数と導入時期

	2022年	2023年							合計
	12/21	1/26	1/27	1/31	2/3	2/10	2/17	2/24	
病院	1								1
診療所		(1) ^{STEP 1}	→	→	→	1 ^{STEP 2}			2
						(1) ^{STEP 1}	→	1 ^{STEP 2}	
調剤薬局	2	2	2	1	3	1		1	12

- 患者、医師が電子処方箋のことをよく理解していないことが多い。
- 医師が4桁のPINコードを間違える ⇒ 15以上でロックがかかる
- 電子処方箋対応薬局が少ない（ベンダー側の対応が遅れ遅れている）

重複防止や併用禁忌のシステム確認のためには、他の医療機関間での運用を押し進める

電子処方箋の発行

電子署名

HPKIカードの準備 : HPKIカードをカードリーダーに立てかける
PIN入力 : 4桁の入力



電子処方箋を発行できないケース

1) 制度上、電子処方箋対象外のもの

- ・ オンライン資格確認に対応していない保険の（**労災、公費単独、生活保護、自衛官診療証等**）
- ・ **分割調剤**および**リフィル処方箋**
- ・ **保険適用外の薬品**を含む処方箋

2) システムの仕様上対応できないもの

- ・ 診療材料を含む処方箋
- ・ 電子処方箋管理サービスとの通信に失敗した場合

かかりつけ調剤薬局の把握

- ・ 外来ブロック受付で電子処方箋対応薬局と非対応薬局の聞き取りを行っている。
- ・ **電子処方箋対応薬局に行くと言っているが、非対応の薬局に行く患者さんが1～3人/日発生。**

電子処方箋 対応可能施設

山形県酒田地域

電子処方箋の 利便性・実用性・運用性

重複防止や併用禁忌のシステム確認のためには、他の医療機関での運用を推し進める

<医療機関>

1	★地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
2	医療法人 健友会 本間病院
3	医療法人 酒井醫院
4	さとう内科クリニック

<薬局>

5	★アイン薬局 酒田店
6	★共創未来 あきほ薬局
7	アイン薬局 ハート泉店
8	イオン薬局 酒田南店
9	かもめ薬局 酒田店
10	共栄堂薬局 光ヶ丘店
11	共創未来 千石町薬局
12	共創未来 ライラック薬局
13	酒田地区薬剤師会 カイエイ薬局
14	さくら薬局
15	すみよし調剤薬局
16	調剤薬局ツルハドラッグ 酒田店
17	調剤薬局ツルハドラッグ 酒田曙町店
18	調剤薬局ツルハドラッグ 酒田南店
19	調剤薬局ツルハドラッグ 酒田若原店
20	調剤薬局ツルハドラッグ みずほ店
21	ニーズ薬局 あきほ店
22	ひまわり薬局
23	ラバス調剤薬局 酒田南店

24	日本調剤 遊佐町薬局
25	日本調剤 鶴岡南薬局
26	日本調剤 荘内薬局

2022年12/21～ ●

1/26～ ●

2/17～ ●

2022年12/21～ ●

2022年12/21～ ●

1/27～ ●

1/31～ ●

STEP 1 (3月下旬可) 1/24～ ▲

STEP 1 (HPKI待ち) 11/11～ ▲

1/27～ ●

2/10～ ●

2/3～ ●

1/26～ ●

1/26～ ●

STEP1 (3月下旬可) 12/22～ ▲

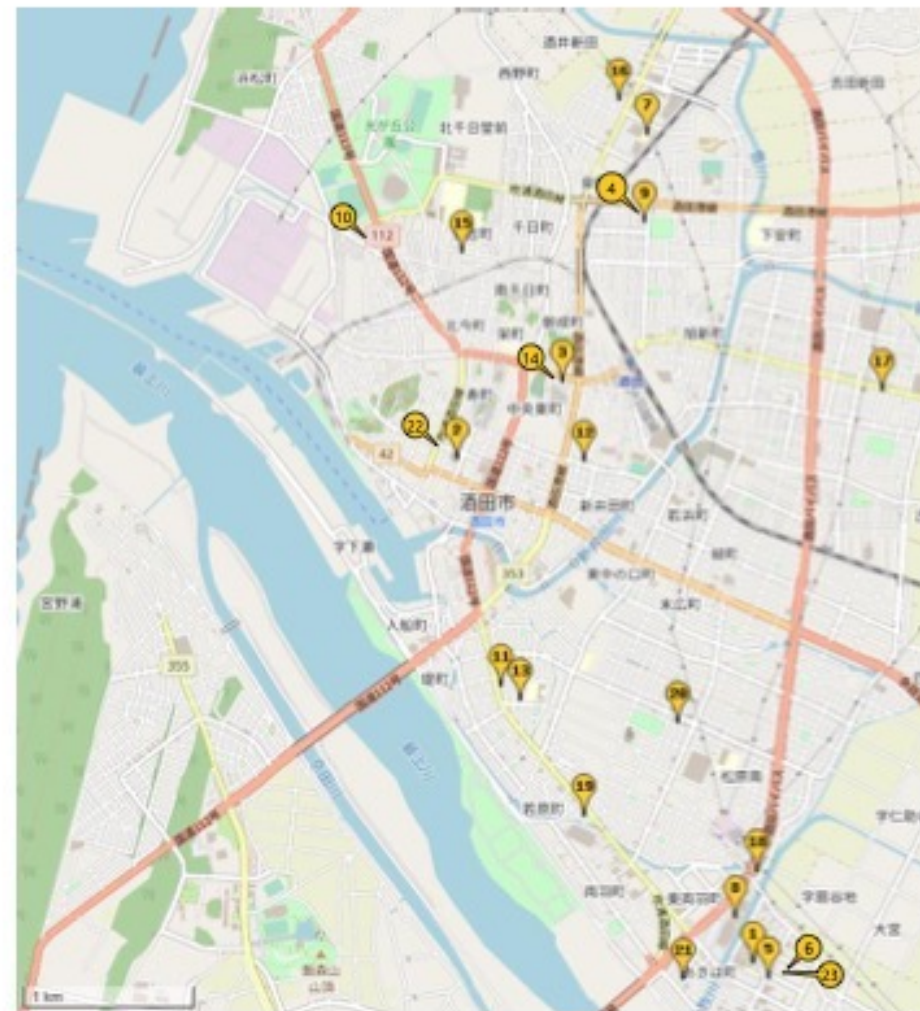
● : 稼働中

2/3～ ●

▲ : 準備中

2/3～ ●

2/24～ ●



2023年
1月10日～

当院は電子処方せんを 発行しています

電子処方せんとは…
これまで紙で発行していた
処方せんを電子化したものです



電子処方せん対応薬局で受け取り予定の方は、
電子処方せんを優先して発行しています

従来の紙の処方せんもご利用いただけます
処方せんの発行方法について、医師に希望をお伝えください

当院では **電子処方せん** をご利用いただけます

電子処方せんってなに？

電子処方せんとは、これまで紙で発行していた**処方せん**を
電子化したものです。

電子処方せんにするメリットって？

- 同じ成分のお薬をもらうことや良くないお薬の飲み合わせを防ぐことができ、安心安全な医療に繋がります。
- お薬手帳アプリ等で薬局に処方せん情報を送ることができ、オンライン診療なども受けやすくなります。

下記の受け取り予定の薬局に を入れていただき、
診察時にこの用紙を医師または看護師に渡してください。
薬局により電子処方せんの発行をご相談いたします。

お薬を受け取る予定の薬局を教えてください。

- アイン薬局酒田店 (酒田市大宮町1-5-2)
- 共創未来あきほ薬局 (酒田市大宮町1-4-14)
- 上記以外 ※電子処方せんはご利用いただけません

これまでと同じ紙の処方せんも選択できます

ご利用の保険や担当医師によっては、電子処方せんのご希望に沿えない場合があります。

電子処方せんについて詳しくはこちら



かかりつけ薬局の把握方法の変遷

① 2022年12月21日～

ブロック受付けで配布するも、診察時に提出してくれない。患者が電子処方箋のことをよく知らない。医師も。

お薬を受け取る予定の薬局を教えてください。

- アイン薬局酒田店** (酒田市大宮町1-5-2)
- 共創未来あきほ薬局** (酒田市大宮町1-4-14)
- 上記以外** ※電子処方せんはご利用いただけません

これまでと同じ紙の処方せんも選択できます

② 2023年1月23日～

ブロック受付けで聞き取りし、〔電子〕 or 〔紙〕をファイルに

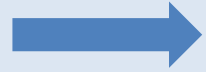


電子処方箋対応薬局に行くという、実際には非対応の薬局に行く患者さんが1～3人/日発生。

薬局数が増え聞き取りが大変
現場から改善要求

③ 2月22日～

エントランスに質問表を準備し、ブロック受付に提出する運用に変更
それを見て、〔電子〕 or 〔紙〕をファイルに



ご質問
◎本日、処方箋が発行された場合にお薬を受け取りに行かれる薬局にチェックしてください。

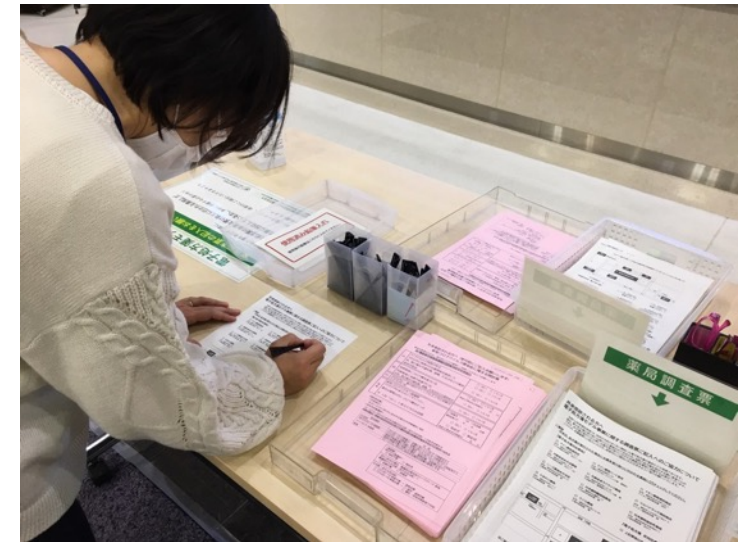
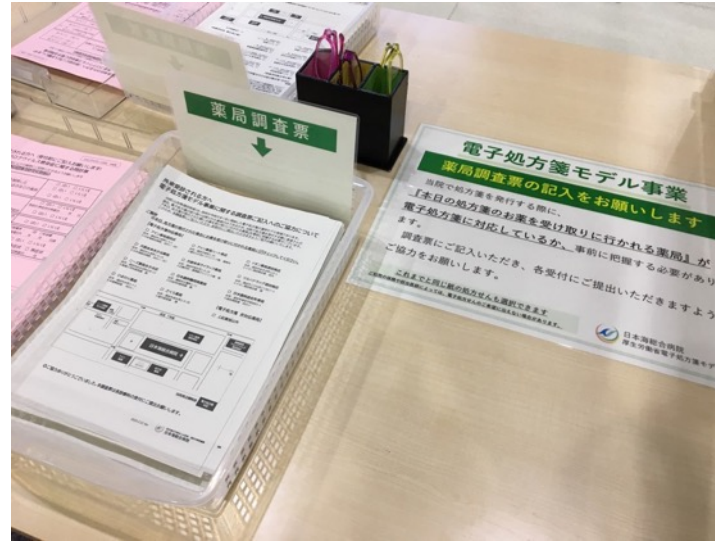
【電子処方箋対応薬局】

- アイン薬局酒田店**
住所：酒田市大宮町1-5-2
※日本海総合病院 向かい (右)
- アイン薬局ハート泉店**
住所：酒田市泉町1-16
※厚生ふれあいクリニック様 建物内
- イオン薬局酒田南店**
住所：酒田市あきほ町120-1
※イオン酒田南店様 店内
- 共創未来あきほ薬局**
住所：酒田市大宮町1-4-14
※日本海総合病院 向かい (左)
- 共創未来ライラック薬局**
住所：酒田市相生町1-6-26
※近藤内科・循環器クリニック様 隣
- ツルハドラッグ酒田南店**
住所：酒田市こがね町2丁目27-3
※イオン酒田南店様 隣
- ニーズ薬局あきほ店**
住所：酒田市あきほ町658-13
※島貴小児科医院様 隣
- 日本調剤鶴岡南薬局**
住所：鶴岡市文園町1-11
※石田内科医院様 隣
- 日本調剤遊佐町薬局**
住所：遊佐町遊佐字前田83-1
※遊佐病院様 向かい
- ひまわり薬局**
住所：酒田市中町3-7-1
※本間病院様 向かい
- さくら薬局**
住所：酒田市相生町2-5-39
※酒井医院様 隣

【電子処方箋 非対応薬局】
 上記薬局以外

電子処方箋 対応

電子処方箋対応薬局増加に伴う対応（運用開始）2023.2.22～

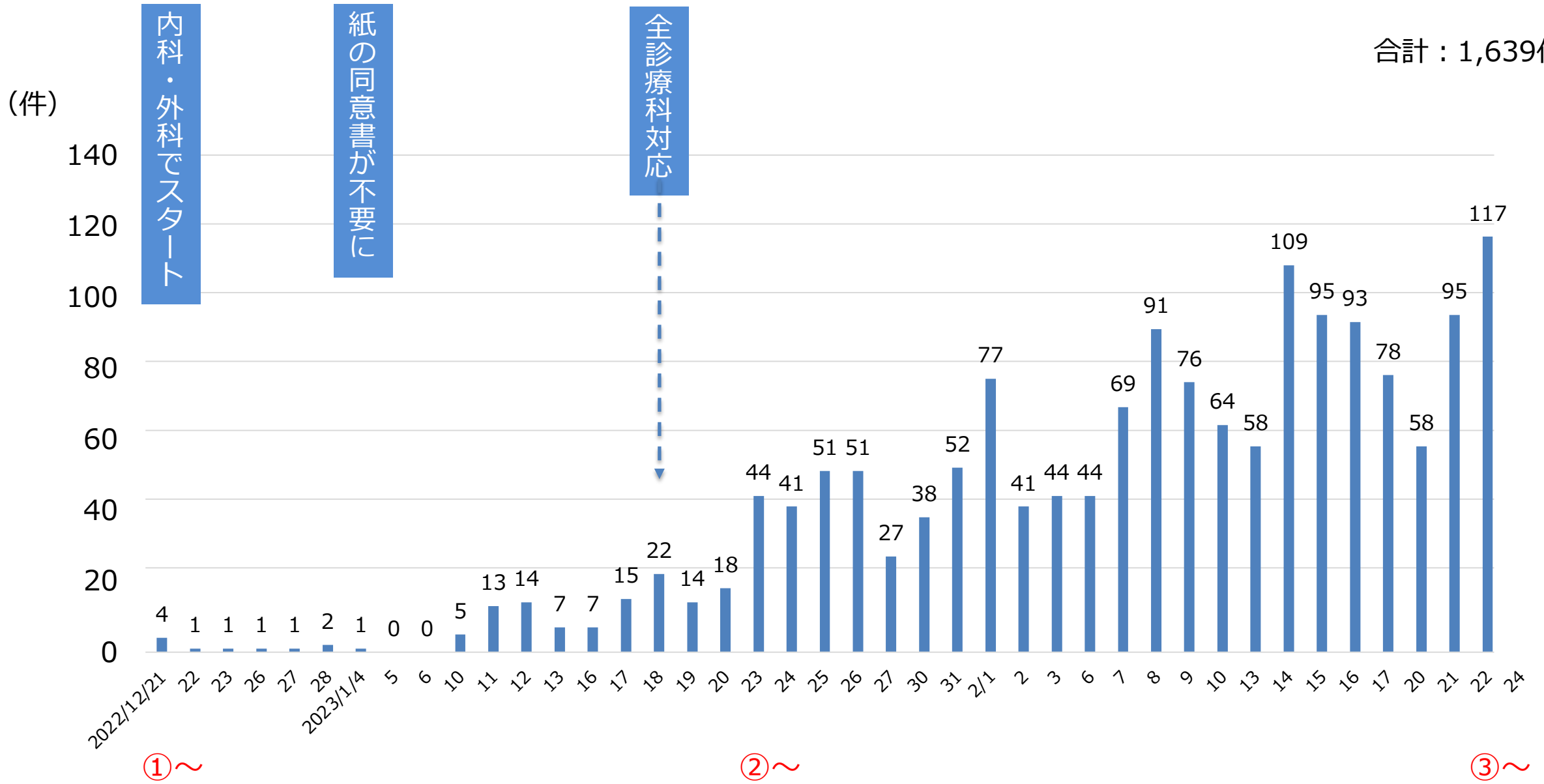


運用初日のため、調査票提出は少なかったが、状況により受付で記入していただいた。

患者さんの手間軽減として、記入いただいた調査票を次回受診時に提出いただくよう説明し、お返しした。

電子処方箋発行件数

合計：1,639件



①～

②～

③～

電子処方箋発行件数（診療科別）

診療科	1/18 (水)	1/19 (木)	1/20 (金)	1/23 (月)	1/24 (火)	1/25 (水)	1/26 (木)	1/27 (金)	1/30 (月)	1/31 (火)	2/1 (水)	2/2 (木)	2/3 (金)	2/6 (月)	2/7 (火)	2/8 (水)	2/9 (木)	2/10 (金)	2/13 (月)	2/14 (火)	2/15 (水)	合計	
整形外科		1	1		4	5	10	3		1	2	2	3	4	2	4	3	13	3	1	6	68	
形成外科				1	2				6	2								2				11	
呼吸器内科	5				1	3				2	4				5	6				1	9	5	20
代謝内科	1			15		5	2		6		6	3		12		10	6			2		8	66
血液内科	1	4	1		3	6	5			6	14	1			10	10	17				4	11	78
腎臓内科		1	1			2	4	1		7	2	5	2		9	2	6	6			9	3	48
循環器内科	2			2	1	1	1	1		1	1	1			1	4	1	1			1	1	18
眼科	5	2	1	4	3	2	4	3	6	8	7	6	8	3	3	7	6	6	8	11	6		109
外科	2	4	6	11	12	5	8	6	6	5	11	9	6	11	11	13	10	7	9	20	12	184	
心臓血管外科	5		3			10	1	4		3	6		4		2	7		3			3	8	48
呼吸器外科							4								1		4				1		5
泌尿器科	1				2	5	2	1	5	1	1	4	4	2	4	2	6	2	2	12	2		58
脳神経外科				3	1			1	3	1	9	1	8	5	10	5	3	6	5	6	4		71
精神科							1		3	4						6	1		5	3	4	8	
耳鼻咽喉科																							0
神経内科		1	4	3	3		4	2	2	4	1	3	1	1	4	2	4	13	4	15	5		76
小児科				1	1		1	1	1	1		2	2	1	1	1	4	2	6	4	7		36
産婦人科				6	1	2	2	2	3	4	1		3	4	1	5	1	3	10	5	3		56
消化器内科		1	1	1	5	5	3	1		5	8	4	3	1	5	7	4		3	6	10		54

HPKIカード
未到着

電子処方箋のオーダー入力

電子処方箋のオーダー入力方法

① 処方箋発行形態（電子処方箋 or 紙の処方箋）を選択

処方入力画面

R P	薬剤名	使用量	単位	指示	別包	重複コメント	コメント
Rp.01	保険自動設定				<input type="checkbox"/>	混用	
1	ハルシオン0.25mg錠	1錠	錠	1日1回 朝食後	<input type="checkbox"/>	なし	
Rp.02	保険自動設定				<input type="checkbox"/>	混用	
1	ロキソプロフェンNa錠60mg「サワイ」	1錠	錠	1日1回 朝食後	<input type="checkbox"/>	なし	
2	酸化マグネシウム	1g	g	1日1回 朝食後	<input type="checkbox"/>	なし	
Rp.03	保険自動設定				<input type="checkbox"/>	混用	
1					<input type="checkbox"/>		

処方区分

外未

投与開始日・時間

2022/9/13 朝

オプション

院内

院内(紙) 院内(電子)

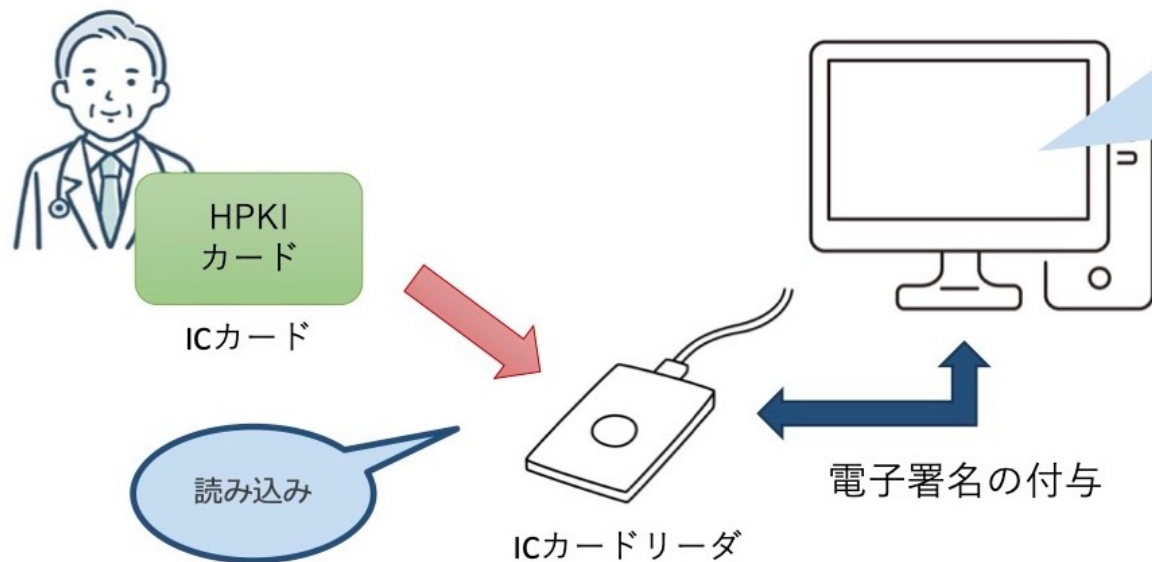
薬剤使用頻度参照

薬剤候補検索

- ・オーダー時に「**院内(電子)**」か「**院内(紙)**」どちらで登録するかを選択します。
- ・オンライン資格確認の顔認証時に患者が選択した処方箋発行形態をデフォルトで選択状態にすることが可能です。
※ただし、導入済みのオンライン資格確認で同意情報を医事システムと連携している場合

② 電子署名（HPKIカード）

電子処方箋の場合は、処方オーダー登録時に**電子署名が必要**



最初だけPIN（パスワード）の入力が必要

電子処方箋を発行する際に、従来の署名・押印の代わりに、医師がICカードを用いて電子署名を行う
HPKIカードをカードリーダーに読み込ませる

- ✓ 医師資格証を忘れたり
- ✓ パスワードを忘れたり

③ 重複投薬・併用禁忌等チェック

電子処方箋管理サービス側での重複投薬等チェックは、医療機関・薬局をまたいで、患者が過去に処方・調剤された薬剤を対象にチェック ※直近100日分の処方・調剤情報が対象

処方入力画面

薬剤毎にコメント入力が可能

コメント入力欄

RP	薬剤名	チェック分類	チェックメッセージ	重複コメント入力
1	ハルシオン0.25mg	併用禁忌	薬剤：イトリゾールカプセル50 本剤の血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こる可能性がある。	
2	ロキソプロフェンNa錠60mg「ザワイ」	成分重複	成分・投与経路：ロキソプロフェンナトリウム水和物 同一投与経路で成分が重複しています	
2	レバミピド錠100mg			

医療機関をまたいだ投薬チェック
重複や併用禁忌を確認

重複投与等チェック結果、確認済み

チェックボックス

確定 キャンセル

重複や併用禁忌がある場合は、チェック結果の画面を表示

- ・ 医師が問題なしと判断した旨のチェック (チェックボックスにチェック)
- ・ 理由を補足する必要がある場合は、**薬剤毎にコメント入力**

チェックを付けて確定

④ 処方オーダー登録後に電子処方箋の「処方内容（控え）」が印刷される

処方内容（控え）

引換番号：1 2 3 4 5 6 

マイナンバーカードをお持ちでない方は上記の引換番号を薬局にお伝えください
ページ：1 / 1

氏名	発行年月日	使用期間
基金 太郎	令和 5年 1月 31日	年 月 日

※印刷時は発行年月日および日付欄有効

【医療機関コード】 13-1-1234567
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目1番地3号
医療法人○○会 基金病院（リハビリテーション科）
TEL① 03-0000-0001 TEL② FAX 03-0000-0002
(処方医氏名) 医師 太郎

【処方内容】

変更不可	EP01	メトグルコ錠250mg	6錠	28日分
×	EP02	【軟】エベリゾン塩酸塩錠50mg	3錠	28日分
	EP03	アレジオン錠20 20mg	3錠	
		ローコール錠20mg	3錠	
		キネダック錠50mg	3錠	
		パナン錠100mg	3錠	各14日分
	EP04	エピナスチン塩酸塩錠20mg錠	6錠	
		フルバスタチンナトリウム20mg錠	3錠	
		エバルレスタット錠50mg錠	3錠	
		パナン錠100mg	3錠	各14日分
		(以下余白)		

保険者番号	06132013	生年月日	昭和50年 1月 1日
記号・番号	10・18982201 (枝番) 01	性別	男
公費負担者番号		公費受給者番号	

患者さんの対応

- とりあえず従来の紙の処方箋と同じ方法を踏襲している。
- 薬局に処方内容（控え）をFaxし、薬局で薬を受取る。
- いずれ、電子処方箋に慣れてきたら、電子処方箋の送信方法や送信システムについて検討する。

「処方内容（控え）」は、電子処方箋管理サービスから
取得したPDFをそのまま印刷

※フォーマット変更はできません。

⑤ 自院で過去に発行した処方箋に対する調剤結果の照会

※ 難点は電子カルテに取りこめないこと

※ ローカル署名モジュールがないと参照できない

調剤結果照会 HTMLで参照

オンライン資格確認ではPDFで参照

The screenshot shows a medical software interface. On the left, a tree view displays a patient's prescriptions (Rp01, Rp02, Rp03) with details like 'アムロジンOD錠 5mg' and 'フロモックス錠 100mg'. A context menu is open over the prescriptions, with the option '調剤結果表示' (Dispensing Results Display) highlighted in a red box. A red arrow points from this menu item to a window titled '調剤結果情報' (Dispensing Results Information). A speech bubble above the window says '調剤結果を表示' (Display Dispensing Results). The window contains a table with the following data:

調剤年月日	薬局名称		調剤数量	
	R P	薬品名称		
2022年8月1日	番号 [用法]			
	〇〇〇〇〇〇薬局			
	1	アムロジンOD錠 5mg [1日1回 朝食後]	1錠	7日分
2	フロモックス錠 100mg ムコソルバン錠 15mg [1日3回 毎食後]	3錠	7日分	
	3	マイスリー錠 5mg [1日1回 ねる前]	1錠	7日分

「調剤結果表示」を選択し、調剤結果を参照することが可能

電子処方箋導入におけるシステムに関する諸課題

① 医薬品コードの統一

レセ電算コード、YJコードなどの標準コードや電子処方箋用統一名称の実装が必要（病院独自コードとは別に）。

② 医薬品名の統一

コードと医薬品名称が完全に一致（一言一句）する必要がある。コードのフィールドと名称のフィールドが完全に一致しないと、電子処方箋を発行できない。ちょっとしたズレもはじかれる。……医薬品コードだけではダメなのか？

③ 用法コードの統一

JAMIのコードを参考にした電子処方箋専用のコードが用意。しかし規定の用法コードだけではならず、用法補足レコードでの対応が必要であった。

④ HPKI（HPKIセカンド）の利用

電子カルテシステムへの組み込み。スマホの準備。

⑤ 重複や併用禁忌などの医療安全に関わるシステム要件

⑥ 電子処方箋引換番号の薬局への伝達方法

Fax、電話、電子版お薬手帳アプリ、PHRなど

⑦ 導入費用、保守費用

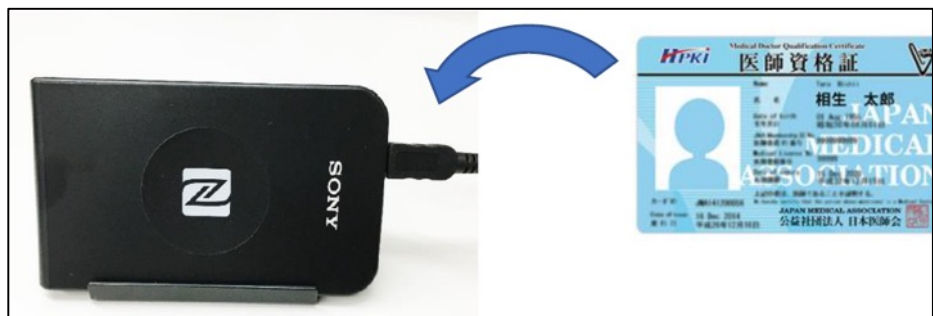
病院や診療所の保守費用。ローカル署名モジュール（80台5年間ライセンス 50万円）

⑧ ベンダーの開発状況

全体に遅延しているがいずれ改善

電子処方箋のHPKIセカンド対応について

現在のHPKI署名



電子処方箋を発行する際は、HPKIカードをカードリーダーに読み込ませる必要がある。

HPKIセカンド

FIDO : Fast Identity Online



認証情報をユーザーIDにマッピングすることが可能で、HPKIカードの携帯が不要になる

ベンダーの対応状況

2022年12月 ベンダーに対応を依頼
2023年 3月 システム開発終了予定

HPKIとHPKIセカンド

	HPKIカード	HPKIセカンド (FIDO)
設置条件	HPKIカード対応カードリーダーのある端末	モバイルデバイスにてFIDO認証用サーバへネットワークがつながること
ハードウェア	認証する端末ごとにカードリーダーが必要	個人ごとにモバイルデバイスが必要 (施設が用意する場合、利用者人数)
操作	カードリーダーをかざした上でPIN入力	QR読み込み後に、ユーザ名入力
認証情報	HPKIカード&PINコード	本人のモバイルデバイスおよび生体情報
紛失時操作	HPKIカード失効申請が必要	新規モバイルデバイス登録が必要

電子処方箋導入の補助率及び補助上限

	大規模病院 (病床数200床以上)	病院 (大規模病院以外)	診療所	大型チェーン薬局 (グループで処方箋の受付 が月4万回以上の薬局)	薬局 (大型チェーン薬局以外)
令和4年度 導入完了した 施設	162.2万円を上限に補助 ※事業額の486.6万円を 上限にその 1/3を補助	108.6万円を上限に補助 ※事業額の325.9万円を 上限にその 1/3を補助	19.4万円を上限に補助 ※事業額38.7万円を 上限にその 1/2を補助	9.7万円を上限に補助 ※事業額38.7万円を 上限にその 1/4を補助	19.4万円を上限に補助 ※事業額38.7万円を 上限にその 1/2を補助
令和5年度 導入完了した 施設	162.2万円を上限に補助 ※事業額の486.6万円を 上限にその 1/3 を補助 (見直し前:1/4)	108.6万円を上限に補助 ※事業額の325.9万円を 上限にその 1/3 を補助 (見直し前:1/4)	19.4万円を上限に補助 ※事業額38.7万円を 上限にその 1/2 を補助 (見直し前:1/3)	9.7万円を上限に補助 ※事業額38.7万円を 上限にその 1/4 を補助 (見直し前:1/5)	19.4万円を上限に補助 ※事業額38.7万円を 上限にその 1/2 を補助 (見直し前:1/3)

電子処方箋への移行期：課題とメリット

患者

- 電子処方箋の意義が十分に理解されていないので、その価値を市民によく周知することが重要である。
- マイナポータルを通して自分の処方・調剤情報をリアルタイムで受け取り、その情報を活用して自分の健康管理に役立てられる。
- 自分のリアルタイムな処方・調剤情報を提示できる。

医療機関

- 電子処方箋の発行件数は1日60～100件に留まっているが、対応薬局がまだ少ないことが主な要因である。
- 移行期では、患者が電子処方箋対応薬局へ行くのかどうかを把握することが必要で、現場の負担になっている。この不便な過渡的な期間をできるだけ短縮するためには、地域全体での導入を推進することが大事である。
- 「紙カルテ+レセコン」運用の診療所におけるHPKI認証
- 院内処方、退院時処方への対応
- マイナンバーカードで同意が得られれば、患者のリアルタイムな処方・調剤情報を活用できる。

薬局における調剤結果登録について

電子処方箋対応薬局は紙処方箋についても調剤結果を管理サービスに登録する。

(参考) 電子処方箋管理サービスにおける電子処方箋及び紙の処方箋の取扱い

	 電子処方箋	 引換番号あり 紙の処方箋	 引換番号なし 紙の処方箋 (従来の処方箋)
発行された処方箋の種類	電子処方箋	紙の処方箋	紙の処方箋
提示/提出をお願いするもの	引換番号/処方内容 (控え)	紙の処方箋	紙の処方箋
処方箋の原本	電子処方箋	紙の処方箋	紙の処方箋
電子処方箋管理サービスに登録するもの	調剤結果情報 (電子署名 必須)	調剤結果情報 (電子署名 任意)	調剤結果情報 (電子署名 任意)

薬局向け オンライン資格確認・電子処方箋クイックガイドより

とりあえず、電子処方箋対応薬局が増えると、
重複防止や併用禁忌など、医療安全に役立てることができる

HPKIカードの取得状況

医師の申請と取得

医師数 151

取得済み	120
取得予定	26 (2022年10月以降申請分が未到着)
未申請	5

異動予定の医師

異動予定が決まった医師に「医師資格証発行申請書」を送付している

現在 **2名**の医師が申請中

今後、申請が増える予定

電子処方箋の基盤である

オンライン資格確認

2021年2月～ プレ運用

当院におけるオンライン資格確認稼働状況

2020年

10月 社会保険診療報酬支払基金よりテスト運用への参加依頼

11月 システム改修および端末の発注

12月 オンライン資格確認用ネットワークを敷設し、院内テスト環境での検証開始

2021年

01月 システム改修を行い、テスト運用を開始

02月 プレ運用開始



【レスポンス】

- マイナンバーカードによる顔認証…2～3秒
- 限度額適用認定情報、特定健診情報の同意…各1～2秒
- 保険情報のダウンロード…1～2秒
- 予約患者一括照会…20分（1,300名分）

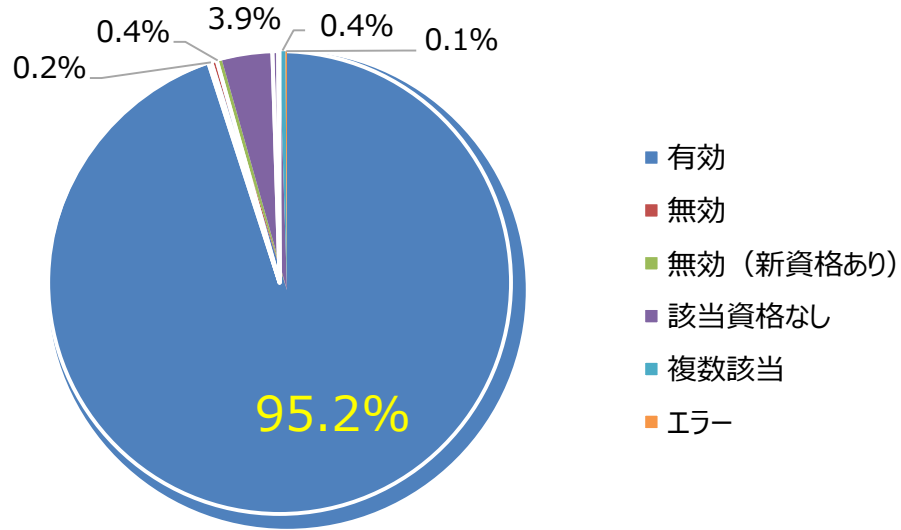
マイナ受付で特定健診情報の参照同意を取得した場合のみ、**同意取得から24時間以内**に限り電子カルテから特定健診結果および薬剤情報を参照できる

【レスポンス】

- PDFファイルのダウンロード…7～10秒

新患・救急

オンライン資格確認 単件照会



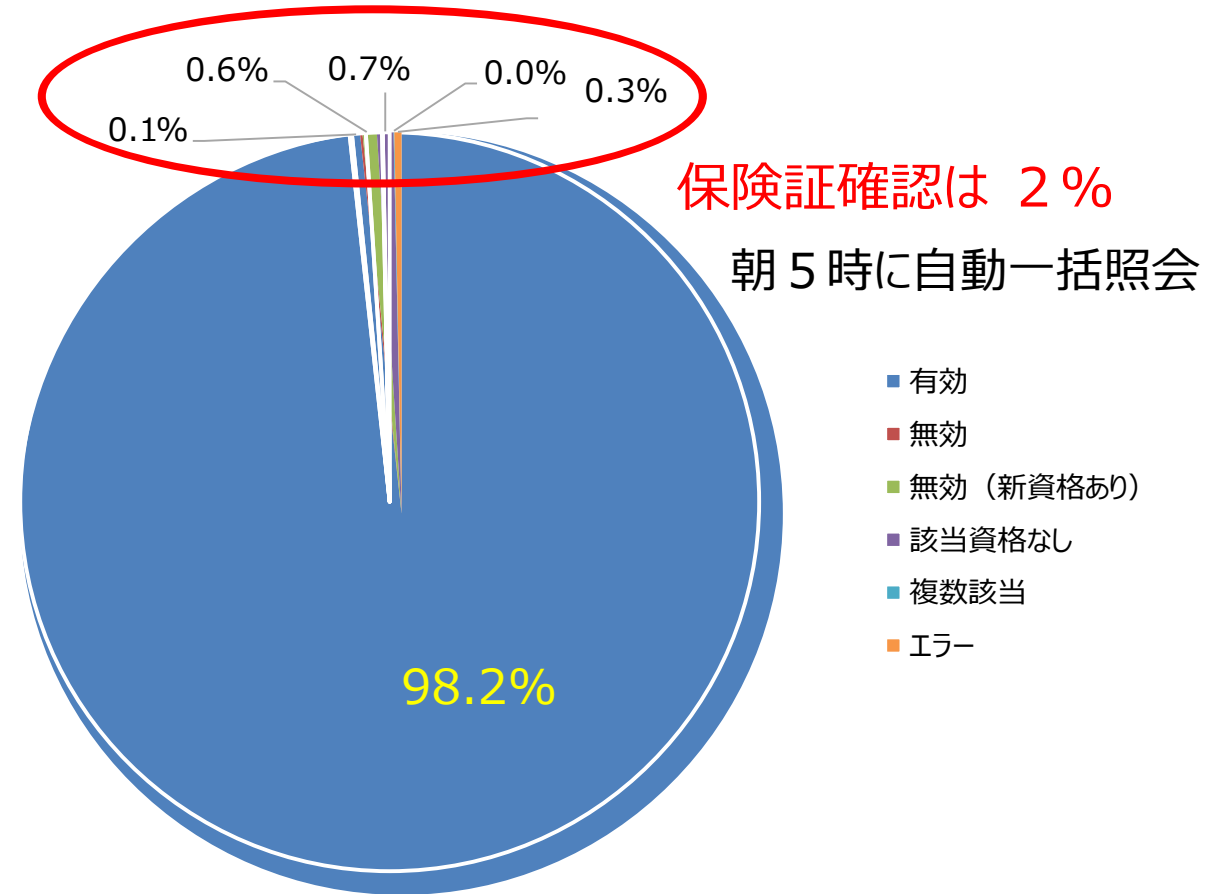
2021年2月～2023年1月

有効 81,707件 (月平均 3,405件)

無効 155、無効(新資格) 319、該当資格なし 3,337、複数該当 330、エラー 55

再診

オンライン資格確認 一括照会 (予約患者)



保険証確認は 2%

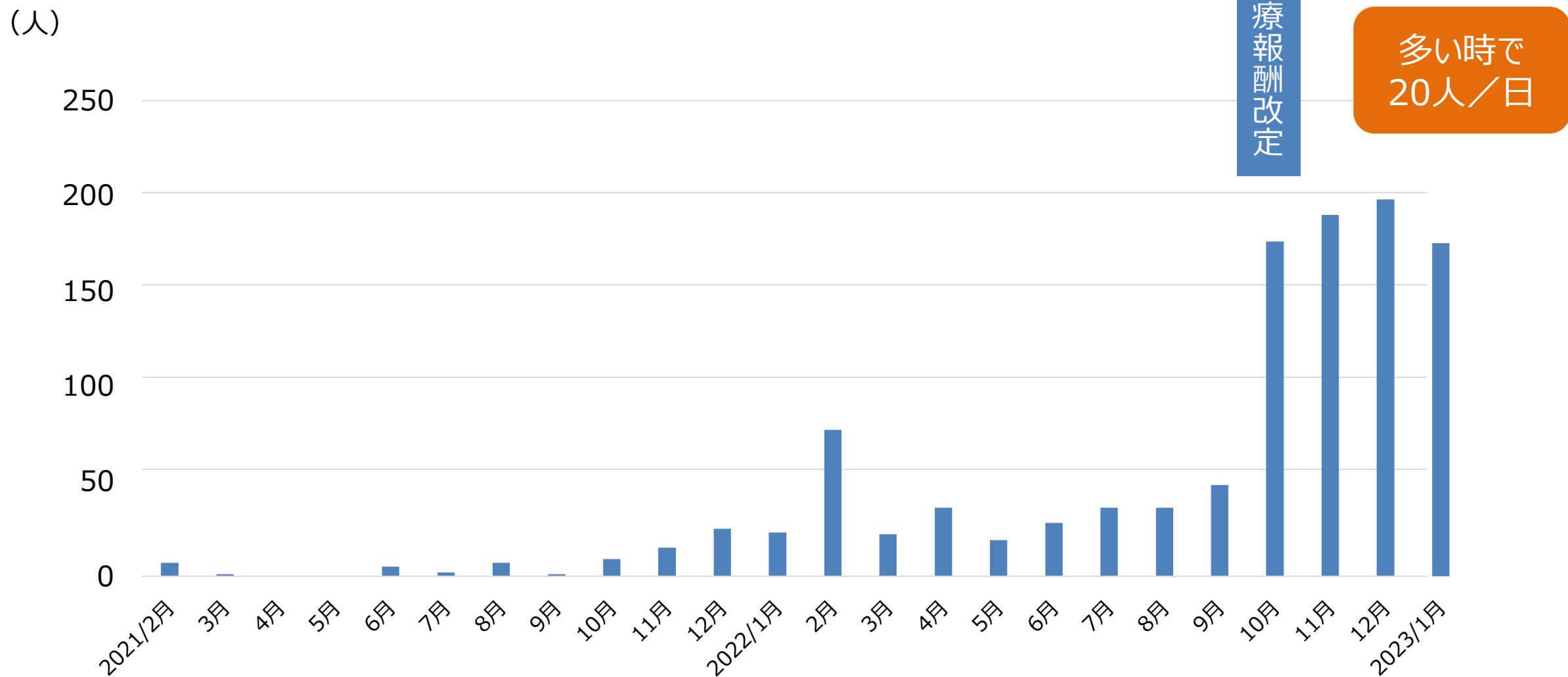
朝5時に自動一括照会

2021年6月～2023年1月

有効 474,506件 (月平均 23,725件)

無効 490、無効(新資格) 3,113、該当資格なし 3,536、複数該当 130、エラー 1,487

新患におけるマイナンバーカード利用者数



オンライン資格確認の効果

【窓口業務の効率化】

- 保険証券面の確認が不要になる
- 予約患者一括照会により、資格確認業務の大半を自動化することができる
- 一括照会で確認できなかった患者および予約外患者についてのみ、保険証提示やマイナ受付で確認することにより窓口の業務量を縮小することができる

【患者・家族の負担軽減】

- 入院前の患者・家族にとって、**限度額適用認定証**の申請および病院への持参が負担となっていたが、オンラインで照会することで負担軽減につながる

【確実な本人確認】

- 高精度の顔認証により、確実な本人確認を行うことができ、**保険証の不正利用防止**につながる

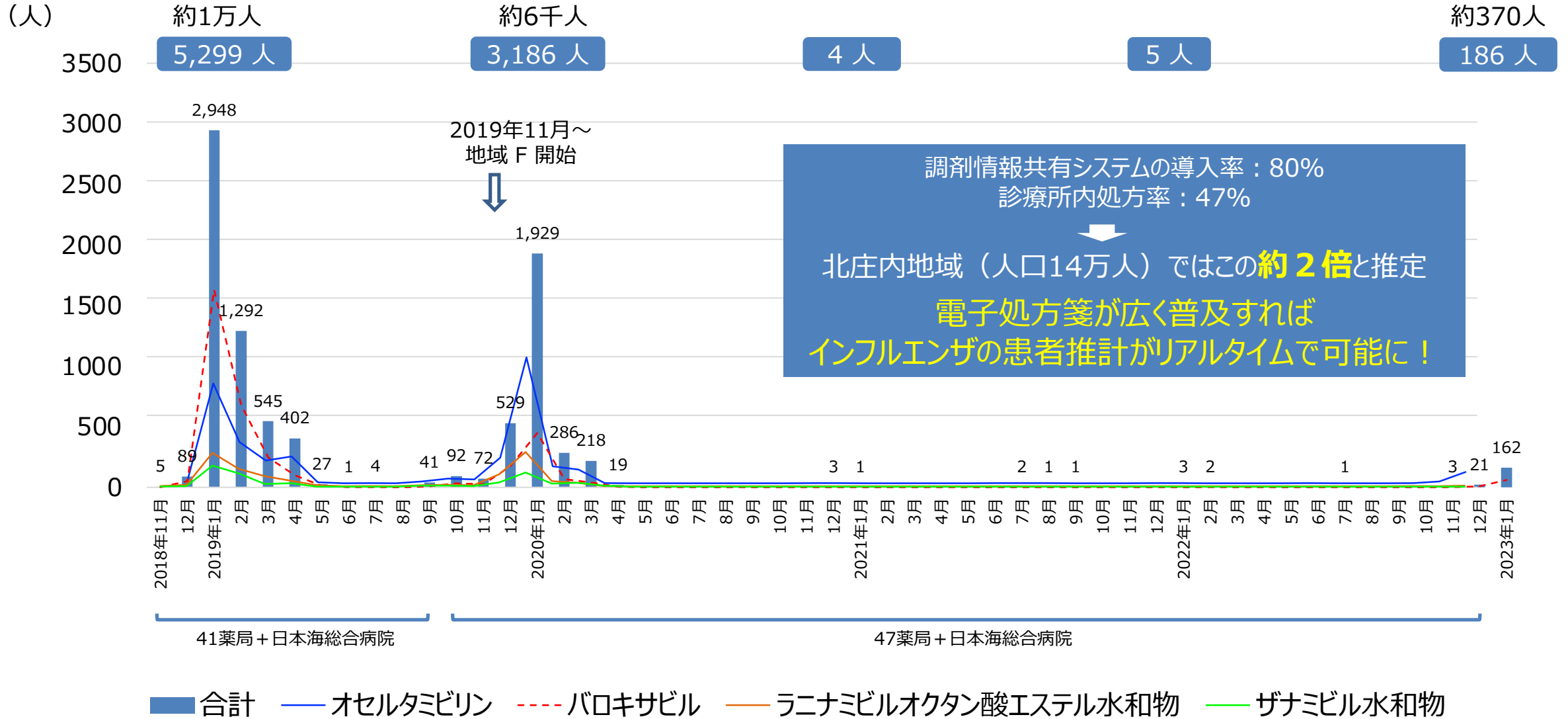
【特定健診情報や薬剤情報の参照】

- マイナ受付で同意取得することで同意から24時間以内に限り参照することができる
- **初診時や入院時の情報収集に活用できる**

電子処方箋への期待

インフルエンザ月次患者数の推移

調剤情報共有システムにおける抗インフルエンザ薬の調剤行数から算出



当機構が運営する病院・診療所

電子処方箋とオンライン診療は親和性が高い

★ 飛島診療所

離島

- ・ オンライン診療
- ・ 電子処方箋
- ・ 宅配
- ・ オンライン服薬指導

医療MaaS を検討中
光ファイバー敷設済
海上ドローン実験中

39km (定期船で75分)

日本海八幡クリニック

★ 升田診療所

★ 青沢診療所

日本海酒田リハ病院

中山間地域

日本海総合病院

★ 松山診療所

★ 地見興野診療所

離島・中山間地域から実証

Door to Balloon time
13分以上短縮

救急車
12誘導心電図伝送

一括照会機能で業務効率化

オンライン資格確認

医療安全

電子処方箋

新型コロナで有用

AI問診
お薬手帳OCR化

病院電子カルテ

診療所電子カルテ

マイナポータル

院外からのCT、診察予約

診療・検査予約

(今後は全国連携を目指す)

ちようかいネット

医師記録の開示
DICOMダウンロード許可
EMS機能
フェイスシート

Net4U

ちようかいケアノート
MCS

調剤情報共有

PHR

2023年予定

患者の医療参画

- ・健康意識の向上
- ・服薬状況や服薬支援
- ・予防医療
- ・重症化予防
- ・訪問診療ツール

患者と医療機関との
エンゲージメントツール

医療・介護連携

地域フォーミュラりのアウトカム評価

ちようかいネット (ID-Link) を核にした 医療情報プラットフォーム

Integration !

酒田地区医師会アンケート調査 回答率 62/93 (66.7%)

オンライン資格確認

	2023/3月末まで			
	導入済み	導入予定	未定	予定なし
オンライン資格確認	30	21	9	2
	48.4%	33.9%	14.5%	3.2%

82.3%

電子処方箋導入について

	導入済み	導入したい	今後検討したい	導入しない
電子処方箋	2	8	30	22
	3.2%	12.9%	48.4%	35.5%

16.1%

◎

まとめ

✓ 電子処方箋の意義

1. 医療安全

電子処方箋における最大のメリットは、リアルタイムな情報反映により重複や併用禁忌のチェックが瞬時に行われ、安全で無駄のない処方が可能になることである。そのためには**地域（面）**で取り組むことが重要である。

2. 常用薬の把握がスピーディ

救急や外来、入院時においてスピーディにできる。オンライン資格確認を導入している医療機関ではリアルタイムの処方情報を患者の同意の元に参照することが出来る。

3. 災害時に威力を発揮

災害、パンデミックでの利用。医療圏を越えても連携可能。

✓ マイナンバーカードが診察券の機能を持つと、運用がさらに円滑になるものと期待される

✓ 電子処方箋は物理的に全国一円のサービスだが

- 論理的に地域で分けた運用が可能になることを期待する。
- それが可能であれば、**地域独自のチェックロジック**（ex.地域フォーミュラリ）、アラートが設定できる。
- データ2次利用による**データヘルス**における活用ができる。

電子処方箋から始まる 医療DX